

令和2年度第9回教育委員会議事録

日 時 令和2年12月23日(水) 午前9時58分～午前11時08分

場 所 尾鷲市教育委員会 3階会議室

議 題

報告事項

(1) 令和3年度三重大学教育学部地域推薦入試(南部枠)について

出席者

教育長	出口 隆久
委員(教育長職務代理者)	森下 龍美
委員	北裏 佳代
委員	濱口 精幸
委員	大門 利江子

出席事務局職員

教育総務課長	山口 修史
教育総務課調整監	植前 健
生涯学習課長	三鬼 基史
教育総務課総務係長	丸田 智則

## 9時58分 開会

教育長：ただいまから、令和2年度第9回教育委員会を開催いたします。  
前回の会議録署名委員は、A委員とB委員でございました。今回の会議録署名委員は、B委員とC委員でございます。どうぞよろしく願いいたします。それでは、教育長報告をさせていただきます。

### 【主な教育長報告】

- 11月17日 三重大学教育学部地域推薦入試の面接
- 11月23日 社会福祉大会
- 11月25日 奨学金貸与選考委員会
- 11月25日 紀北地域学校活性化協議会
- 11月27日 尾鷲市議会臨時議会
- 11月29日 子育てHAPPYDAY  
みえ地震・津波対策の日シンポジウム
- 12月1日 東紀州地域人材養成塾
- 12月7日 市議会定例会開会  
輪内中学校英語発表会
- 12月9日 プログラミングロボット寄贈  
(主婦の店、第三銀行より寄贈)

教育長報告について何かご質問等はございませんか。

A委員：第三銀行さんと主婦の店さんからのロボット寄贈についてですが、教育委員会で管理をして各学校へ貸出すということですが、現場の教員は操作方法について実際に説明できるのでしょうか。

教育長：今から、職員が実践いたします。

～m-Bot を操作～

事務局：今年度中に児童生徒1人1台、タブレットパソコンを整備しますので、それでプログラミングをして動かすことができます。

A委員：全員で一気に動かすことはできないですね。

事務局：グループ学習で行うことになります。8台ありますので、グループに分かれていただいて。

A委員：これは充電式ですか。

事務局：はい。充電式の電池が入っています。

B 委員：Wi-Fi でつながっているのですか。

事務局：Bluetooth です。専用の USB 型の Dongle という機器を使用します。

B 委員：予約は入っているのですか。

事務局：これからの貸出しとなります。

C 委員：これを使うことによって先生が画面だけで教えるよりも、現実的に子どもたちが理解しやすくなるということですよね。

事務局：そうですね。これまでは画面上だけでしたが、このような動きをさせたいという指示をプログラミングするのですが、実際にどういう動きをするのかを見ながらできるので、理解しやすくなると思います。

教育長：身近な家電製品でも今は全てプログラムが組み込まれていて、子どもたちもこのようなロボットを通じて、家の中にある物もプログラミングされることにより動いている、コントロールされているんだということを理解できるようになると思います。

D 委員：先に目的をしっかりと考えることがプログラミングだと思います。

教育長：しっかりと目的をもって、いかに動かすかということを学んでいく。調整監を中心として学校で活用できるようにお願いしたいと思います。それでは次の報告事項に入りたいと思います。

事務局：

**【報告内容】**

- 令和 3 年度三重大学教育学部地域推薦入試（南部枠）について  
1 名の志願者があり、面接を実施。結果、三重県南部地域の小学校教育に貢献する意志が明確であるため、志願者として推薦した。

教育長：何かご質問等はありませんか。それでは、その他に入ります。いくつかの報告があります。

事務局：

**【報告内容】**

- 尾鷲中学校の給食導入について  
・12 月議会で総合的な観点から、親子方式が望ましいとの報告をした。

教育長：この件について、何か質問等がございますか。

B 委員：尾鷲小学校を令和4年度に改修をするということですか。

事務局：予定としては、4年度中に改修をして、5年度から開始できないかと思  
います。しかし親子方式の課題としては、改修期間中に尾鷲小学校の給  
食が停止、給食が実施できないという状況があり得るので、その対応に  
ついて検討しています。

A 委員：改築期間はどれくらいですか。

事務局：予定では8ヶ月です。詳細な設計ができてくれば工期が短縮されるかも  
分かりませんが、夏休み等を上手く利用し、できる限り保護者の負担が  
少なくなるような方法がないか検討しております。

教育長：現状はそのような状況で、工事期間中のことも含めて、まだまだ検討し  
なければならないこともたくさんございますので、つめていきたいと思  
います。他、何かございませんか。

では、議会でも幼児教育の進捗状況について質問があり、説明をさせて  
いただきました。先般、県内の認定こども園を視察していただきました  
が、感じられたことなどがあれば教えていただきたいと思います。い  
かがでしょうか。保育所型、幼稚園型、幼保連携型と全てのタイプをみ  
てきましたが、どうでしょうか。

C 委員：幼稚園型の幼稚園が、すごく印象に残っています。設備ではなくて、子  
どもたちを教育するにあたって、低学年からカリキュラムを組んで、将  
来の役に立つという大変ですが、成長するにあたって特徴ある教育を受  
けられていいなあと思いました。この園に入ったらピアノが弾けるよ  
うになるよとか、字が書けるようになるよとか、細かなところまで注  
意して教えていただける、そういう特色を持った園はいいなあと思いま  
した。

教育長：あそこは元々幼稚園であった幼稚園型認定こども園で、幼児教育はその  
まま継続して行っており、そこに保育を必要とする子どもさんも通園し  
ている形になっています。その認定こども園の特徴と言えると思います。  
他、いかがでしょうか。

B 委員：私は幼保連携型のこども園の方がよかったです。中庭が広くて、そうい  
う遊び場で遊ばせながら育てられたらいいなあと思いました。

D 委員：やはり子どもを育てるためには、まず家庭ではないかなあと思いました。  
視察をした所は、素敵なこども園でしたが、正直言うと違和感がありま  
した。そこまでの教育をしないといけないのか、もっと自然の中でさま  
ざまな体験ができないかなあと思います。

B 委員：幼保連携型のこども園の園長先生が言っていたのですが、保育と幼児教育は、現在は違いがないようになっている。認定こども園になるまでは、保育園は一般的に預かってもらっているというだけの認識しかなかったが、認定こども園になったことで、そうではないと分かってもらえたというようなことをおっしゃっていました。保育園の活動を発信していくことが大事だとおっしゃっていました。

教育長：私もその言葉は印象に残っています。保育園も目指すべき指針、要領は同じになっていますから、いわゆる教育と言われる部分も行ってこられました。認定こども園になったからといって、それが特にクローズアップされる問題ではないし、今までとずっと変わらず続いてきている。ただ認定こども園になったことでそれが認識されたので、このことを広めてもらうことがこれからはいいのではないかと。もう一つは、認定こども園になったけれど、保育所部分、保育を必要とする部分が膨れあがってきている。幼稚園型のこども園も同じで、全国的な傾向でそのようになってきているのかなあと感じました。また、もう少しいろいろな情報も集約できたら、教育委員会の中でも結果についてまた報告させていただきたいと思います。この件につきまして、他に何かございませんか。では次回の教育委員会の日程について、お願いします。

(日程調整)

教育長：次回の開催は、1月21日木曜日、10時からよろしいでしょうか。ではこれで第9回教育委員会を閉会いたします。

11時08分 開会